

天文学とプラネタリウム



www.tenpla.net

第111回



今月のお題

創造性を高める天文学



天文学は経済的には役に立たない…とよく言われますが、本当にそうでしょうか？実は、経済的にも大きな貢献をするポテンシャルがある気がするのです。

高梨直結（東京大学）
平松正顕（国立天文台チリ観測所）

天文学の話をするときありがちな反応は、「天文学？ああ、（生活の役には立たないけど）良いよね。夢があった。」といったもの。大部分の人は括弧内をあからさまには言いませんが、まあそのように感じている人も少なくないでしょう。私たちもそうでした。経済的あるいは物質的に社会に貢献しているというよりは、精神的欲求の追求に役立つのが天文学である。その深さが天文学の魅力でもあり、天文学の主たる役割である、と。もちろんそれはそれで正しいと思っているのですが、本当に経済的に役立たないのでしょうか？実は、そんな事は無いのではないかと。最近、そんな事を考えるようになってきました。

天文学は世界経済を救う？

もちろん、数百億円もかかる天文台を建設するときには、それに応じた経済効果がありますが、ここで言いたいのはそういうちっぽけなことではありません。天文学の思考法は、ビジネスをやっている皆さんにとっても良い刺激にな

るのではないかと、もっと踏み込んで言えば、創造性を高め、イノベーションを促す力があるのではないかと、思うのです。ああ、横文字を使ってしまった。

天文学の良いところを挙げてみましょう。まず、時間スケールも、空間スケールも、日常で慣れ親しんだスケールと全く異なる世界であること。日常的な常識の世界からははるかに遠い天文学の世界を理解するために、慣れ親しんだ思考の枠組みを取り払わなければいけません。自然と、自分が知らず知らずのうちに陥っていた近視眼的な世界の存在に気がつくことでし

よう。知らないことを知るための方法論としても、天文学は示唆に富んでいます。一般に、自分が知らないことを知ることはたいへん難しいことです。なぜならば、自分がなにを知らないのかを知らないから。なにを知らないかを知れば、そこに新しい世界を見いだすことができるでしょう。天文学の歴史は、まさにその繰り返しです。天動説から地動説への転換はもちろん、ニュートンによる天地の物理法則の統合や、銀河系の発見、一般相対性理論の確立やダークマター、



天体観望会の非日常性も、思考をリフレッシュする効果があると思います。ええ。

ダークエネルギーの発見は、いずれもそれまでに誰も知らなかったことを知った例です。天文学を学ぶことで、このようなパラダイムシフトを体験することは、イノベーションを起こすヒントになることでしょう。

さあ、いろいろな組織の研修担当の皆さん。ぜひ一緒に天文学を活用した研修プログラムを組んでみませんか？連絡お待ちしております。